

だっこだっこあみだっこ

平成 29 年

1.2

月号



こども仏事お作法教室
～(続)お経ってなんだろう?～

菜園日記

母 悲喜こもごも

ぼく・わたしを育てるほとけのことは
報恩 (ほうおん)
—ありがとうのリレー—

東山浄苑東本願寺発！ママと子どものフリーペーパー **だっこだっこあみだっこ**です♪

あみださまは、おかあさんの「だっこ」のように、あたたかくわたしたちをみまもって下さっている—
そのことに気づいたとき、わたしたちは安心して、自信をもって生きていけます。

未来をになう子どもたちは社会の宝もの。その子どもを育てる**子育ては、とても尊い大事な**
ことです。いい子になってほしい、と思いながらも、**ほんとうのやさしさ、かしこ**
さ、強さってなんだろう？悪いことをしたらどう叱ったらいいの？ —ほとけさまの教え
が、悩めるパパ、ママのともしびになりますように。 ぜひ、ご家族みなさんでお読みください♪

FREE Paper

ぼく・わたしを育てる ほとけのことば

今月のことば：「報恩(ほうおん) ありがとうのルー」

仏教には、今のわたしたちにとって、あたたかなともしびとなることばがたくさんあります。

「ほとけのことば」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう♪

「報恩(ほうおん)」ってどういうこと？

報恩とは、「ご恩むくに報むくいる」という意味の言葉です。

浄土真宗では、本願念仏の教えを開いて下さった 親鸞しんらん聖人しょうにんのご命日めいにち・11月28日に、そのご恩に報むくいるための法要、「報恩講ほうおんこう」をおつとめします。

「報恩」のほかに、受けている恩を知ること、「知恩ちおん」ということも仏教では大切にされていて、「知恩院ちおんいん」「知恩寺ちおんじ」などお寺の名前にもなっています。

しかし、この「報恩」「知恩」の根っこには、恩を感じることに、「感恩」があります。恩を感じるこころをゆたかにすることこそ、私たちににとって大切ではないでしょうか。

「恩(おん)」ってなんだろう？

それでは、「恩」とはそもそも何でしょう？

「鶴の恩返し」という昔話がありますね。ケガをしているところをおじいさんに助けてもらった鶴が、そのお礼にやってくるお話です。このように、助けてもらうこと、自分のために何かしてもらうことを「恩」といいます。

昔話には、この鶴の恩返し以外にも、きつねや犬など、動物たちによる恩返しのはなしが多くみられます。わたしたちのご先祖は、「恩」というものをとても大切にされていて、これを子どもにわかりやすく昔話という形で伝えていったものでしょう。



「おかげさま」のこころ

昔はあいさつで、「お元気ですか？」「おかげさまで」というやりとりが多くありました。また、よいことがあった時にも、「自分がかんばったからこんなよいことがあった！」と言うのではなく、「おかげさまで」と言ったりもします。

この「おかげさま」は、特定の誰かだけではなく、仏さまや神さま、自然などさまざまなものからいただくめぐみ、助けに対して、「ありがたい」という感謝のことばです。自分が元気であること、よいことがあったとき、何も意識しなくても、まずはじめに「ありがたい」という思いが起きる — 「おかげさま」「ありがたい」「もったいない」は、古きよき日本のこころと言えましょう。



「四恩(しおん)」

最近「恩」や「おかげさま」という言葉があまり聞かれなくなりました。しかし、今でも、わたしたちは自分でも気づかないうちにたくさんの「恩」をうけています。

仏教では、「四恩しおん」ということがよく言われています。

①身近なひとたちからの恩

まずはじめに、私たちのまわりにいる、親しい人たちの「恩」です。お父さんお母さんが育ててくれる「恩」、学校で色々なことを教えてくれる先生の「恩」、仲良くしてくれるお友達の「恩」。どれも欠けても楽しい日常は成り立ちませんね。



②世界中のひとたちからの恩

次に、おいしいお米や野菜を作ってくれる農家の人や、電車やバスの運転手さん、郵便屋さん。私たちの毎日は、いつも世界中の数え切れない人たちによって支えられています。



四恩

③住んでいる国の恩

私たちが生まれ育った日本という国の「恩」を考えてみましょう。わたしたちが今、蛇口をひねれば水が出て、道路には信号があり、さまざまな法律がつくられ、日々平和に安全に暮らしているのは、ほかでもない国のおかげですね。



④天地自然の恩

最後に、当たり前になってしまっていて忘れがちですが、空気やお日さまの光、植物や水や土など、私たちはいつも自然の中に生きていて、自然のものをもらって生きています。



そして、これら「四恩」のおこうがわには、私たちがひとりもらさず必ず救うと誓って下さった阿弥陀如来さまの、もったいなくもありがたい御恩があるのです。

こうした「恩」はあまりにも大きく、気づいたとしても、たくさんある「恩」のすべてを返していくことは、私たちにはできません。けれども、まずは恩に気づくこと、恩を感じる事が大切です。

ありがとうのルーをつなげよう！

私たちは、困っているひとをみたとき、この人のためになにかしてあげたい、という思いで「恩」をほどこします。「恩」をうけた人は、「恩」を感じたら、自然と「ありがとう」の気持ちがわき出て、自分も相手のために何かしてあげたい、と思いますね。「恩」は、ほどこしたひとも、うけとった人も、うれしい、優しいきもちになり、「思いやり」の心を持ちます。また、こうした一対一のやりとりにとどまらず、その様子を見ているまわりの人たちにも優しい気持ちがうつっていくのです。

このように、「恩」をもらったぶんだけ相手に返して終わり、というのが、恩返し の形とは限りません。身のまわりの様々な「恩」を感じ、感謝の心を持って接していけば、それに触れた人にも「ありがとう」のルーがつながっていきます。そのルーをどんどん広げていって、私たち一人ひとりが優しく楽しく生きられる世の中にしていきましょう。

ありがとう
ございます



だっこだっこあみだっこは、毎月東山浄苑東本願寺で開催している「親子仏法の集い」の活動内容をもとに編集しています♪

親子仏法の集い-仏法に親もう 土に親もう!-つてなあに?

毎月第3日曜日(行事等で変更の場合あり)に、東山浄苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。なんでもありがたいだいて、粗末にしない-古きよき日本人を育てた仏教の教えです。家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、「いただきます」「ありがたい」の豊かなこころを育てましょう。乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。(ただし、子ども奉納会への参加は満4歳から12歳まで)お気軽にお尋ねください!



【活動日】毎月第3日曜日 ・1~4月度は変則 ・詳しくは下記のとおり 【場所】東山浄苑東本願寺

※ベビールーム完備 ※屋内無料駐車場完備 ※参加ご家族30組限定

★お問合せ・参加のお申込みは★

東山浄苑東本願寺 総合受付

電話 075-541-8391 毎日 9:00 ~ 17:00



一参加者募集中! 今後の親子仏法の集いご案内一

本年4月に開催する花まつりに向けて、^{たんぶつげ}嘆仏偈のおつとめを練習中!

お経をはじめて聞く、読むお友達でも安心!
ご僧侶がやさしく丁寧に教えます。仏事作法も学べますよ♪

1月 活動 1月15日(日)・29日(日)

10:00~12:00

菜園の土づくり

子ども奉納会(嘆仏偈【お経】のおつとめ)練習

2月 活動 2月5日(日)・19日(日)

10:00~12:00

野鳥の話

子ども奉納会(嘆仏偈【お経】のおつとめ)練習

【場 所】東山浄苑東本願寺内 菜園 ほか

【参加費】 ●花まつり子ども奉納会に参加する方…練習初回参加時に1月~4月度練習料として1家族3,000円一括納入
*花まつり当日参加費が別途必要 *詳しくはお尋ね下さい

●花まつり子ども奉納会には参加しない方…初回参加無料/1家族1ヶ月1,000円

※参加ご希望の方は事前にお電話でお申込みください。

※野菜の生育状況などによって、活動内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

※雨天の場合は、お念珠づくりなど室内企画を行います!お楽しみに♪



平成29年4月29日(土・祝)

花まつり 申込受付中

お稚児さん募集

○対 象: 満2歳~12歳
○定 員: 限定100名
○参加費: 6,000円

子ども奉納会参加募集

○対 象: 満4歳~12歳
○定 員: 限定30名
○参加費: 3,000円
別途、左稚児行列への参加費が必要です

075-541-8391 東山浄苑東本願寺

だっこだっこあみだっこ 平成28年1・2月号

平成28年1月15日発行 発行・印刷/東山浄苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上花山旭山町8-1 電話 075-541-8391

無料